

令和 8 年度第 1 回土浦市地域公共交通活性化協議会の 主な意見と回答について

1. 報告事項

②市内公共交通の状況について

No.	主な意見	回答及び（その後の）対応
1	千代田神立ラインについて、継続路線は土浦市内の運行のみだが、かすみがうら市は費用負担してくれるのか。運行主体の変更を考えているのか。	かすみがうら市は、かすみがうら市民が協同病院を利用するための手段として路線は必要と考えているため、費用負担をする話となっているが、今後は土浦市の負担割合が高くなることとなる。
2	地域公共連携ライドシェアについて、実績の 146 人にはリピートの重複分も含まれるか。	実績は実際に会員登録をした人数であり、重複はしていない。
3	（つちまるバスの乙戸南地区循環について）リフト付車両の予約回数は？	リフトの予約については事業者から報告がないためまだ使用実績は無いものと思われる。
4	（つちまるバスの乙戸南地区循環について）2 月と 3 月の月間利用者数と 1 便当たり利用者数を比較すると 3 月は月間利用者数は伸びているが 1 便当たり利用者数が減っている。	2 月は 2 週間の運行であり 3 月と比較すると月間利用者数が少ない。
5	（つちまるバスの乙戸南地区循環について）今後の利用促進の予定は	パンフレットの全戸配布については手配済み。そのほか、町内会での利用促進のお願い、敬老会で回数券をまとめて買ってもらうなどを考えている。